

単元名	【旧】(参考単元)墨で表す(絵)	配当時間	3時間
単元の目標	(1) いろいろな用具や方法を使って、自分の思いに合う表し方を工夫することができる。 (2) 墨の効果を生かして自分の表したいことを見付けることができる。 友達の作品の墨の色の違いや筆あとのよさや美しさを感じ取ることができる。 (3) 墨でいろいろ試すことを楽しもうとする。		

標準的な展開例

06080308_001

【準備等】和紙（数種類の大きさ）、新聞紙、墨汁を入れる皿、刷毛、スポイト、墨汁、筆、文鎮、筆洗、割りばし、雑巾、彫刻刀、消しゴム、作品カード

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
1, 2 教科書の参考作品を見て、学習課題をつかみ、墨と和紙で表現する。 ○参考作品を見て、課題をつかむ。 ★墨から生まれるさまざまな形や色を見付けよう ○筆や刷毛の動かし方、水の含ませ方を示範し、試しがきする。 ・すばやく動かす、ゆっくり動かす ・濃淡の変化 ・リズムの変化 ○墨から感じた形や色から表現したいテーマをもち、絵に表す。（活用） 3 友達の作品を鑑賞する。 ○作品への思いを作品カードに記入する。 ○友達の作品のよさを話し合う。（言語活動）	・教科書 5・6 下 P. 22, 23 ・筆や刷毛の動かし方、濃淡の変化、いろいろな用具でかいていることに気付かせる。 ・大胆な表現をさせるためにも、墨で汚れてもよい服装に着替えさせておく。 ・筆先の表現で終わせらないように、体全体でかかせる。 ・筆以外にもスポイトや割り箸を使わせても面白い。 【評】活動を通して、筆や用具を活用しながら表す「表現の技能」を評価する。 ・試した墨のよさや楽しさを組み合わせるとよい。 ・かきたいものに合わせ、紙の大きさを選ばせてもよい。 ・完成した作品には、消しゴムに彫刻刀で名前を彫り落款にしてして押印させる。 【評】作品を通して、墨の効果を生かして自分の表したいことを見付ける「発想や構想の能力」を評価する。 ・いろいろな表現方法があることに注目させる ・お互いの作品に題名を付け合い、どうしてそのように感じたのか話し合わせるとよい。

【 備 考 】
この単元では、さまざまな方法を試しながら、墨と和紙で絵に表す活動をする。墨と水でできる形や色を試したり、特徴を生かしたりしながら、心地よい調和やリズム感のある絵に表す。言語活動では、自分や友達の作品の墨の美しさや表し方のよさ、面白さに着目し、話し合わせるとよい。